



1000万人のお客様に

2024年1月4日(木) 9時45分~10時00分

ラジオNIKKEI第一

楠社長と広報松﨑さんが出演!

・総合口座1000万口座突破

r/5 90 57 总 共有 三+ 保存 ···

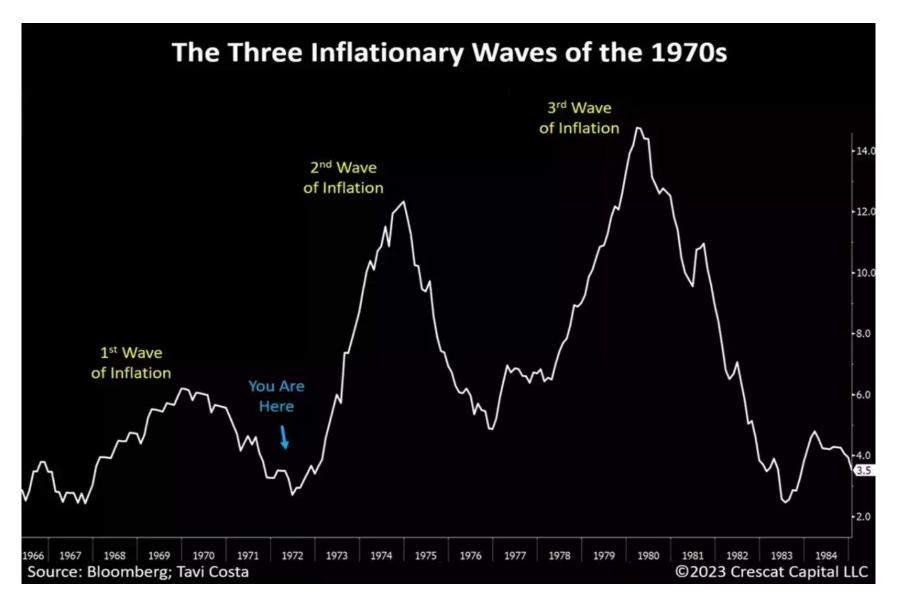
- ・楽天証券から感謝のメッセージ
- https://www.youtube.com/watch?v=CZGU2BoYG6Y

米国10年国債金利(日足)



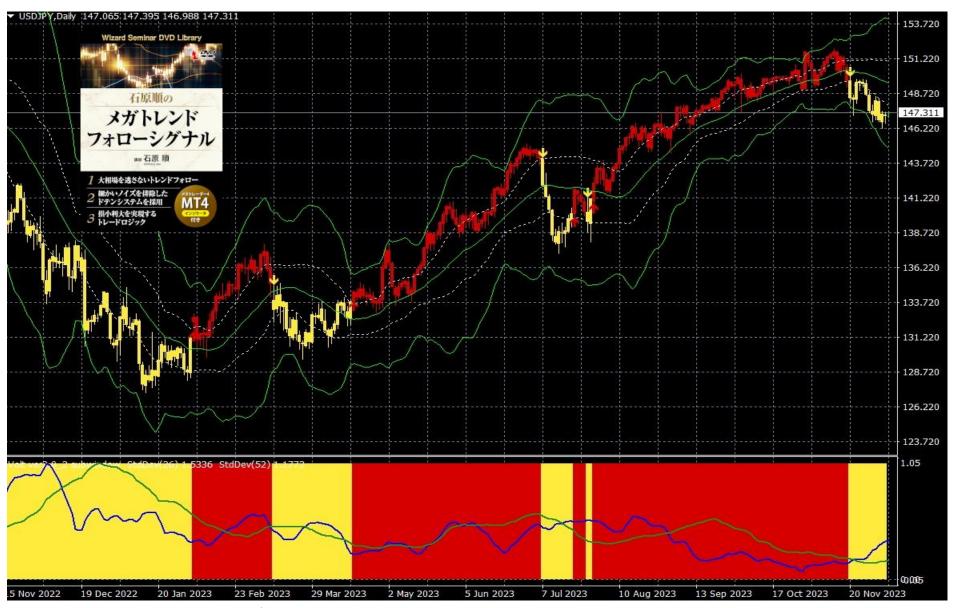
出所:トレーディングビュー・石原順インディケーター

1970年代の米国のインフレ

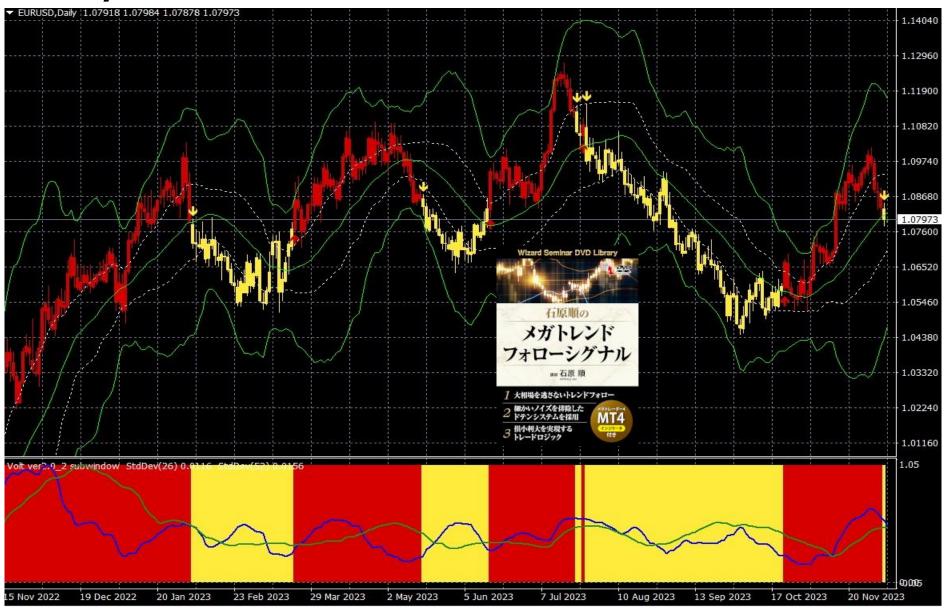


出所: Tavi Costa

ドル/円(日足) (赤:買いトレンド・黄:売りトレンド)



ユーロ/ドル(日足)(赤:買いトレンド・黄:売りトレンド)



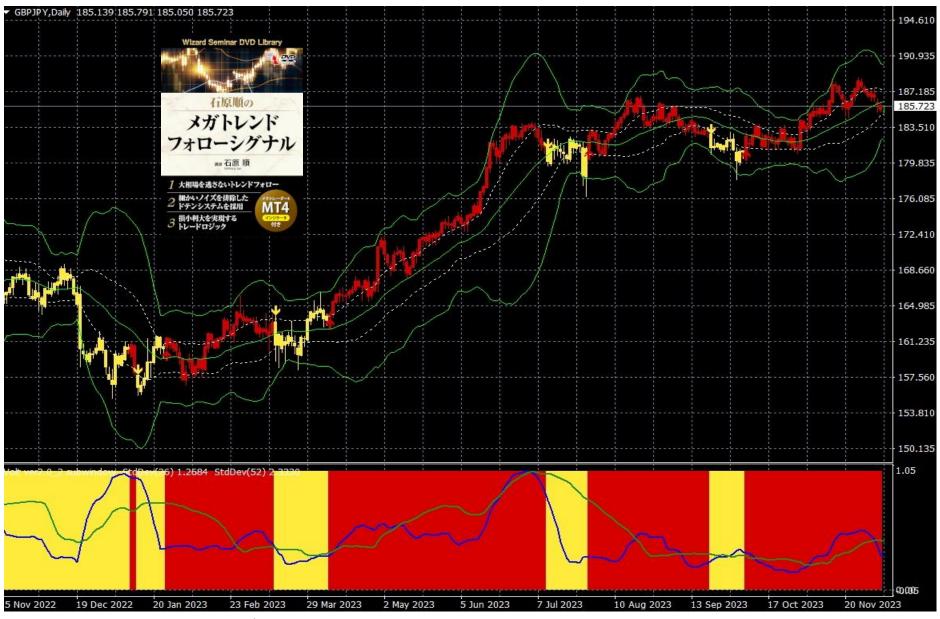
ユーロ/円(日足) (赤:買いトレンド・黄:売りトレンド)



ポンド/ドル(日足)(赤:買いトレンド・黄:売りトレンド)



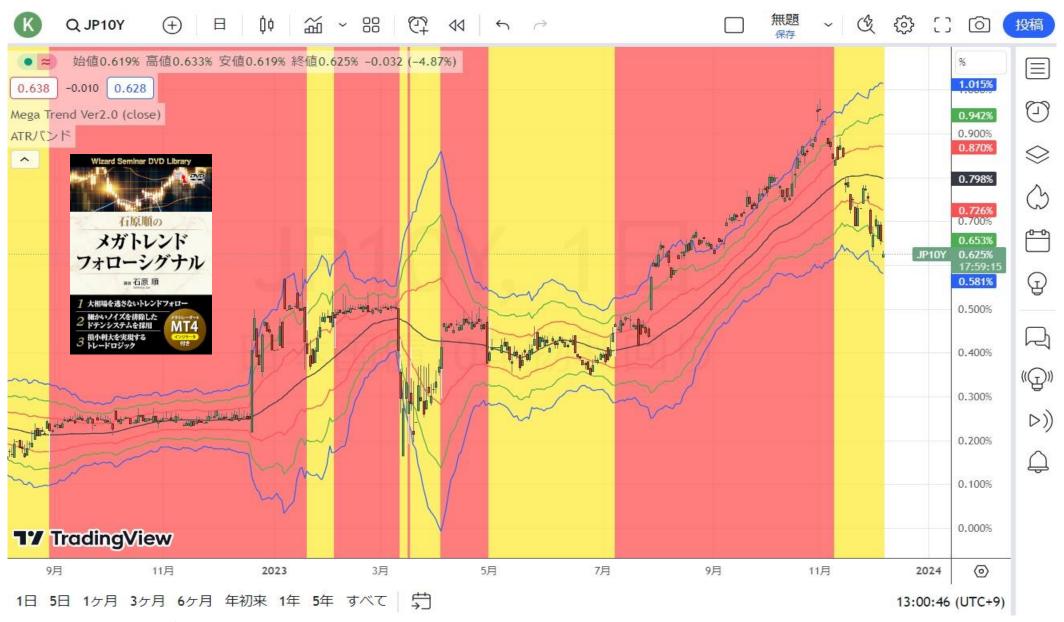
ポンド/円(日足)(赤:買いトレンド・黄:売りトレンド)



ゴールドCFD (日足) (赤:買いトレンド・黄:売りトレンド)



日本10年国債金利(日足)



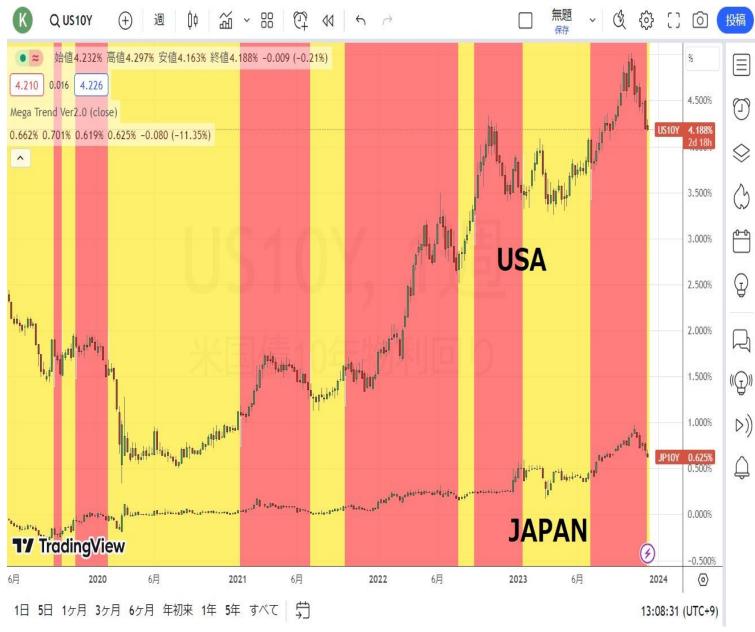
出所:トレーディングビュー・石原順インディケーター

世界の中央銀行の政策金利

Global Central Bank Policy Rates							
				Real	YoY CPI		
				Central	Trend vs.		Last
		Central Bank	CPI	Bank	Prior	Last	Move
Country	Rate	Rate (Today)	YoY	Rate	Reading	Move	Month
Japan	Policy Rate Bal	-0.10%	3.3%	-3.4%	Higher	Cut	Jan-16
Switzerland	Target Rate	1.75%	1.7%	0.1%	Unchanged	Hike	Jun-23
Taiwan	Discount Rate	1.88%	3.1%	-1.2%	Higher	Hike	Mar-23
Thailand	Policy Rate	2.50%	-0.3%	2.8%	Lower	Hike	Sep-23
Malaysia	Policy Rate	3.00%	1.8%	1.2%	Lower	Hike	May-23
China	Loan Prime Rate	3.45%	-0.2%	3.7%	Lower	Cut	Aug-23
South Korea	Repo Rate	3.50%	3.8%	-0.3%	Higher	Hike	Jan-23
Denmark	Deposit Rate	3.60%	0.1%	3.5%	Lower	Hike	Sep-23
Sweden	Repo Rate	4.00%	6.5%	-2.5%	Unchanged	Hike	Sep-23
Eurozone	Deposit Rate	4.00%	2.9%	1.1%	Lower	Hike	Sep-23
Norway	Deposit Rate	4.25%	4.0%	0.3%	Higher	Hike	Sep-23
Australia	Cash Rate	4.35%	5.4%	-1.1%	Lower	Hike	Nov-23
Canada	Overnight	5.00%	3.1%	1.9%	Lower	Hike	Jul-23
UK	Bank Rate	5.25%	4.6%	0.7%	Lower	Hike	Aug-23
US	Fed Funds	5.38%	3.2%	2.2%	Lower	Hike	Jul-23
New Zealand	Cash Rate	5.50%	5.6%	-0.1%	Lower	Hike	May-23
Poland	Repo Rate	5.75%	6.6%	-0.9%	Lower	Cut	Oct-23
Hong Kong	Base Rate	5.75%	2.7%	3.1%	Higher	Hike	Jul-23
Indonesia	Repo Rate	6.00%	2.6%	3.4%	Higher	Hike	Oct-23
Saudi Arabia	Repo Rate	6.00%	1.6%	4.4%	Lower	Hike	Jul-23
Philippines	Key Policy Rate	6.25%	4.9%	1.4%	Lower	Hike	Mar-23
India	Repo Rate	6.50%	4.9%	1.6%	Lower	Hike	Feb-23
Czech Republic	Repo Rate	7.00%	8.5%	-1.5%	Lower	Hike	Jun-22
Peru	Policy Rate	7.00%	4.3%	2.7%	Lower	Cut	Nov-23
South Africa	Repo Rate	8.25%	5.9%	2.4%	Higher	Hike	May-23
Chile	Base Rate	9.00%	5.0%	4.0%	Lower	Cut	Oct-23
Mexico	Overnight Rate	11.25%	4.3%	7.0%	Lower	Hike	Mar-23
Brazil	Target Rate	12.25%	4.8%	7.4%	Lower	Cut	Sep-23
Colombia	Repo Rate	13.25%	10.5%	2.8%	Lower	Hike	Apr-23
Russia	Key Policy Rate	15.00%	6.7%	8.3%	Higher	Hike	Oct-23
Turkey	Repo Rate	40.00%	61.4%	-21.4%	Lower	Hike	Nov-23
Argentina	Benchmark Rate	133.00%	142.7%	-9.7%	Higher	Hike	Oct-23
CREATIVE	@CharlieBi	lello	Data as of 11/24/23				

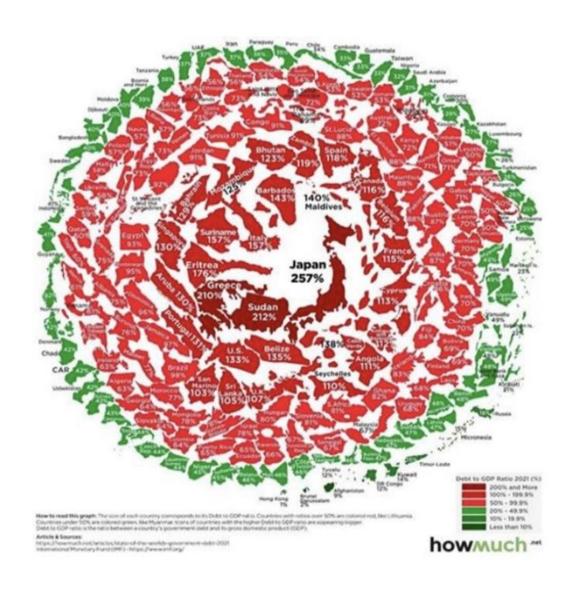
出所:クリエーティブプランニング

米国10年国債金利と日本10年国債金利(週足)



出所:トレーディングビュー・石原順インディケーター

政府債務(債務対GDP比)の雪だるまの視覚化



インフレを煽り続け、賃金がそれに追いつくことを望むこととは別の明確な目的が、おそらく日銀にはあるのだろう。それは、インフレを引き起こし、このインフレによって円の購買力を消耗させるということだ。猛烈なインフレが何年も続けば、日本のGDPに対する債務残高の割合は他の先進国程度まで落ち着いてくることも想定される。

加えて、日本のマイナス金利と大規模金融緩和は、米国株と米国債の買支え(補完装置)として利用されている。そういう政治的理由からも、日銀は金利を上げられない。日本が金融緩和を辞めたら、米国株が暴落するし米金利も上がり債務返済ができなくなる。対米従属を続けている日本は、(少なくとも来年の米大統領選挙までは)基本的にゼロ金利の解除をしにくいのである。

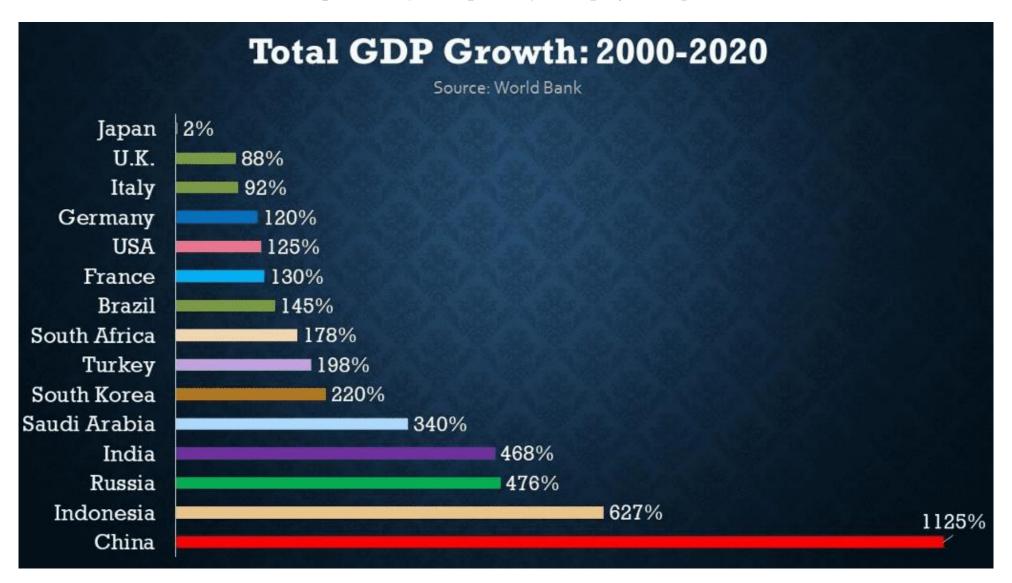
出所:ビジュアルキャピタリスト

巨額の借金を持つ国において、インフレは政府の実質債務を減らすことができるが、金利上昇は利払い負担になるので望ましくない。しかし、金融市場で〈国債を買い支える仕組み〉をつくれば、インフレ下においても長期金利を低く抑えることが可能となる。政府にとっては実質借金額と利払い負担の両方を減らすことができるのである。

この金融市場で〈国債を買い支える仕組み〉が日銀のYCC (長短金利操作)である。

このような市場が要求する水準よりも政策金利を低く抑えつける 政策は、〈金融抑圧政策〉と呼ばれている。植田日銀総裁の一 連の発言は、日本国債を買い入れて金融抑圧をやる為の方便で はないだろうか?

日本の成長率のダントツの低さ



出所:世界銀行



石原順(西山孝四郎) @ishiharajun·11月6日

2%物価目標実現の確度、「少しずつ高まってきている」- 日銀総裁 - Bloomberg

- ●賃金と物価の好循環強まるか丹念に確認、春闘は重要な点検ポイント
- ●YCCの下で粘り強く金融緩和を継続することが政策運営の基本

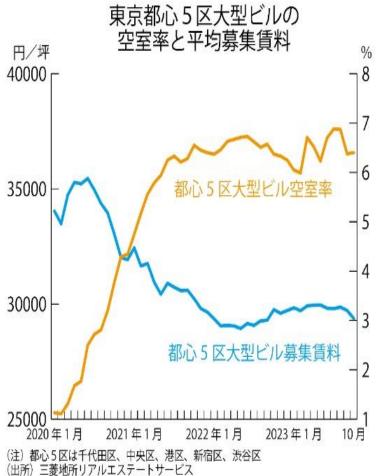


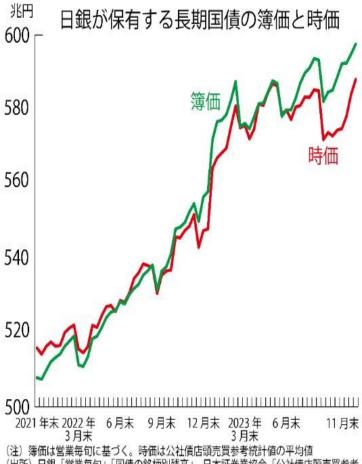
出所:X



Japan's debt-to-GDP has crossed a staggering 220% This is the highest level among ALL developed countries Japan Debt as % of GDP Japan Government Debt as a Share of GDP 240 220 Over 200% 200 180 160 140 120 100 Dates: 1998 Through Q1 2023. Source: Bank for International Settlements, Game of Trades. **1** 5 O 29 1,1 1,923







(注) 簿価は営業毎旬に基づく。時価は公社債店頭売買参考統計値の平均値 (出所) 日銀「営業毎旬」「国債の銘柄別残高」、日本証券業協会「公社債店頭売買参考 統計値」のデータをもとに筆者作成

出所:マーケットエッセンシャル(前田昌孝)



石原順(西山孝四郎) @ishiharajun · 13時間

年間2兆ドルを超える赤字を垂れ流しているのに、彼女は実際にこう言った のだ。

ジャネット・イエレン:米財務長官は次のように述べた。

「二つの戦争をする余裕はある」





政府は不換紙幣の発行者であり、それゆえ彼らは常に名目上、より多くの債務を発行することで義務を果たすことができる。これには限界がある。時間の経過とともに、通貨の実質価値が下落し、容赦ない財政赤字はインフレのオーバーシュートにつながるかもしれない。

ロシアとプーチンを血祭りにあげようとして、ゼレンスキーという役者に1600億ドルも浪費した後、彼らはその大失敗にタオルを投げて、次の大失敗に移ろうとしている。もちろん、彼らはそれを大失敗だとは思っていない。彼らの武器商人やウォール街の金融業者たちは、継続的な戦争という豚の谷で彼らの利益への飢えを満たしたのだ。

出所:X

17

金融政策と戦時経済

岸田文雄政権の「新資本主義」は、当初の財政再建に向けたトーンを弱め、成長重視のアベノミクス路線に転向してきている。「骨太の方針」で、財政健全化目標の達成期限を削除してしまった。

運用者の間では、こうした日本の動きは「米国大使館からの要請だろう」との見方が多く、この世界的なインフレ下で、日本は巨額債務を無視して周回遅れのMMT(現代貨幣理論)政策をやらされているとうわさされている。

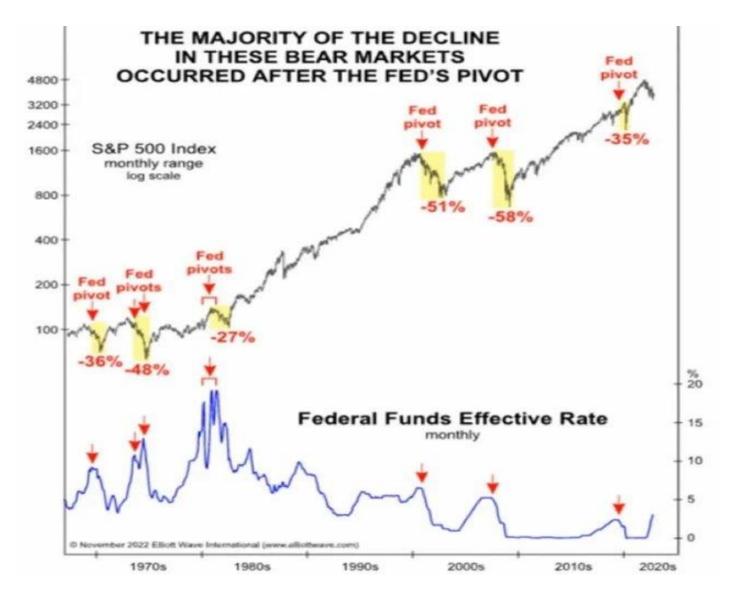
中国包囲網やドルの防衛でアングロサクソン連合が利上げに向けて動いたなか、日本にMMTや資産運用奨励政策をやらせて日本人に米国債や米国株を買ってもらわないと、米国はファイナンスに困る。言うことを聞くのは対米従属の日本だけである。

日本は、敗戦国という弱者の宿命とはいえ、MMTの狂気の最たるものである1%の指値オペという無制限緩和をおこなっているのである。

通常、円キャリートレードで調達された資金は利回りの高い米国債などの類似商品に投資される。

もちろん、こうしたキャリートレードは株が暴落すれば最終的には涙をのむことになる(2008年 のリーマンショックで巻き戻されたように)。

歴史は「利下げ」が本当の暴落の引き金になることを示している!?

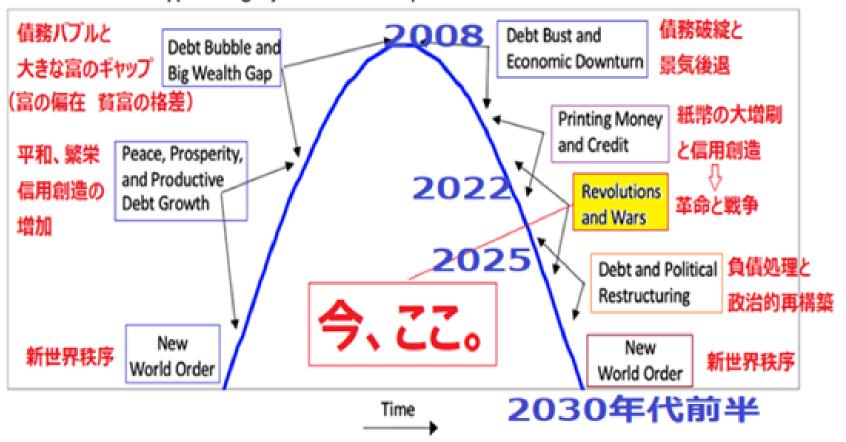


出所:エリオットウエーブインターナショナル

レイ・ダリオの帝国のビッグサイクル

帝国の背後にある典型的な大きなサイクル

The Typical Big Cycle Behind Empires' Rises and Declines



出所:レイ・ダリオ(リンクトイン)